# 鳥取県の政策に関する「県民意識調査」に

## ご協力お願いします

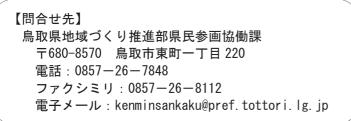
鳥取県には、都会にはない「豊かな自然」や「人と人との絆」、心豊かな暮らし を実現できる「幸せを感じる時間」があります。県では、このような鳥取県の強み を活かし、県民の皆さんとともに様々な地方創生の取り組みを進めています。

これからも、県民の皆さんが、住み慣れた地域で安全に安心して暮らし続けてい ただけるよう、現在の状況や今後の要望などに対する、あなたの率直なご意見をお 伺いし、今後の県政に活かしていきたいと思います。

ついては、お忙しいところ誠に恐れ入りますが、調査の趣旨をご理解いただき、 ご回答いただきますようよろしくお願いします。

#### 令和2年7月30日

- この調査は鳥取県が行う「鳥取県政に関する県民意識調査」(今年で5回目)です。
- 〇 調査をお願いする方の選定にあたりましては、県内在住の18歳以上の方から3,000人を 各市町村の住民基本台帳より無作為に抽出させていただきました。
- O 調査票は無記名になっていますので、<u>お名前を記入していただく必要はありません</u>。
- 〇 ご回答いただいた内容は、<u>無記名のまま統計的に集計・分析するため、個人が特定されたり、</u> 個々の回答内容が公表されることはありません。
- 〇 調査票は、封筒のあて名の方ご本人がお答えください。ただし、ご本人の回答が難しい場合 (病気入院中、長期出張や学生で県外に出ている等)は、ご家族の方など代わりの方(18歳 以上)がお答えいただいて構いません。
- O 回答は、<u>鉛筆又はボールペン等で、この調査票に直接記入</u>してください。一旦記入した 内容を訂正する場合は、訂正後の回答が分かるようにしてください(方法は問いません。)。
- O ご記入いただいた調査票は、同封の返信封筒に入れて令和2年8月18日(火)までに 郵便ポストに投函(切手不要)してください。
- O この調査についてご不明な点がありましたら、問合せ先までご連絡ください。







#### I 鳥取県の住みやすさについて

【問1】あなたは、鳥取県に対して愛着や誇りを感じていますか。

(0は1つ)

1感じている2少し感じている4あまり感じていない5感じていない

3 普通(どちらともいえない)

【問2】あなたが、今暮らしている地域の住みやすさを教えてください。

(0は1つ)

1 とても住みやすい 2 どちらかというと住みやすい 3 普通(どちらともいえない) 4 どちらかというと住みにくい 5 住みにくい

【問3】鳥取県に暮らしていて、あなたは次の設問についてどう思われますか。 1~10の設問ごとに表中の選択の中から1つ選んでのを記入してください。

≡л вв		選択			
	設問		どちらとも 言えない	そう 思わない	
1	豊かな自然環境に恵まれている	思う			
2	住んでいる住民(県民)が親切である				
З	地域での人と人とのつながりがある				
4	生活するにあたり、公共交通機関が整っている				
5	地域の防災組織が整っている				
6	地域の治安が良いと感じている				
7	子育て支援が充実している				
8	医療や介護の体制が充実している				
9	子どもの教育環境が充実している				
10	ストレスなく日常生活を送ることができている				

【問4】鳥取県に暮らしていて、あなたは今どの程度「幸せ」ですか。 10を「とても幸せ」、5を「普通」、0を「とても不幸」として、次の数字1つに0をしてください。



【問5】あなたの「幸福度」を判断するときに、あなたが重視することは何ですか。(〇はいくつでも)

1 家計の状況 2 就業の状況 3 自身の健康の状況 4 自由な時間(充実した余暇)

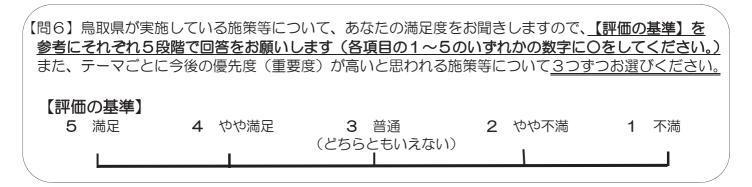
5 仕事(学校)の充実度 6 精神的なゆとり 7 趣味などのいきがい 8 家族関係

9 友人関係 10 職場(学校)の人間関係 11 地域コミュニティとの関係

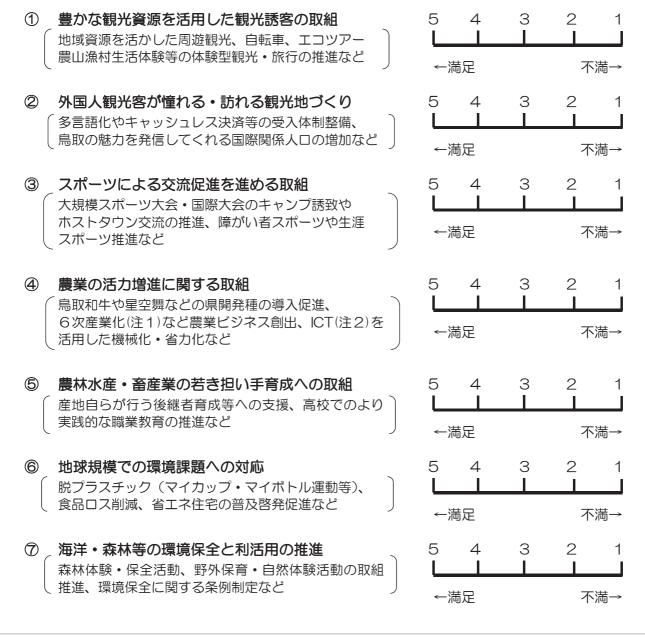
12 自然環境(住みやすさ) 13 その他 (

)

### Ⅱ 鳥取県の施策の満足度と今後の優先度について



## 1 豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる



※ 上記の施策等のうち、あなたが今後優先すべき(重要度が高い)と思うものを3つ選んでください。【 】【 】【 】 】【 】 】

注1:農林漁業者自らが、生産から加工・製造、流通・販売までを主体的に取り組むことにより、新たな付加価値を生み出す取組のこと。 注2:「Information and Communication Technology」の略語で、「情報通信技術」のこと。

## 2 人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む

① 結婚・出産・子育ての希望を叶える取組 出会いの機会の充実、不妊治療や子育て世帯の経済的 負担の軽減、保育所等の体制整備や放課後児童クラブ 等の充実など	5 4 ( └──満足	3 2 1 ▲ ▲ ▲ 不満→
② 地域で子育て世代を支える取組 医療ケア児の受け入れ支援の充実、子どもの貧困対策 の推進、不登校等の相談支援、男性の家事・育児参加 の促進など	5 4 、 ▲ ▲ ▲ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓	3 2 1 ┃ <b>┃ ┃</b> 不満→
③ 未来を拓く人づくりの取組 グローバル化に対応した英語教育の推進、主体的に 学習する児童生徒の育成、プログラミング的思考(注3) や情報活用能力の育成など	5 4 ( ▲ ▲ ▲ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓	3 2 1 ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲
<ul> <li>他域を支える人財育成の取組</li> <li>郷土愛を育むふるさとキャリア教育、地域の自然、</li> <li>歴史、文化等から学ぶ体験活動など</li> </ul>	5 4 ( ▲ ▲ ▲ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓	3 2 1 ┃ 不満→
<ul> <li>5 女性・高齢者・障がい者など多様な主体が輝く 地域づくりを進める取組</li> <li>(人権教育の推進、NPO(注4)や地域活動の推進、 あいサポート運動(注5)の普及、障がい者の職場定着 支援、外国人材の就労支援など</li> </ul>	5 4 ( ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲	3 2 1 ▲ ▲ ▲ 不満→
⑥ 絆を活かした中山間地域・まちなか振興に関する 取組 (地域運営組織づくりの支援、買い物や見守り生活 サービスの確保、共助交通など生活交通の再構築など)	5 4 ( ┃ ←満足	3 2 1 ┃ <b>1</b> 不満→
⑦ 健康寿命の延伸 (健康マイレージ事業(注6)、がん検診受診率の向上、 とっとり方式認知症予防プログラムの普及など	5 4 、 ▲ ▲ ▲ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓	3 2 1 ┃ 不満→
⑧ 鳥取ならではの防災文化づくり 住民や地域が主体的に避難行動を起こす防災文化の 定着、市町村と連携した避難体制の整備、鳥取らしい 支え愛活動推進など	5 4 ( ▲ ▲ ▲	3 2 1 Ⅰ Ⅰ Ⅰ 不満→

*	上記の施策等のうち、	あなたが今後	優先すべき	(重要度が高い)	と思うものを3つ選んでください。	
		[	][	][	]	

注3:自分が意図する一連の活動を実現するために、どのような動きの組合せが必要であり、一つ一つの動きに対応した記号を、どのように 組み合わせたらいいのか、記号の組合せをどのように改善していけば、より意図した活動に近づくのか、といったことを論理的に考え ていく力

注4:NPO法人(特定非営利活動法人)

注5:県民が、多様な障がいの特性の理解に努め、障がいのある者に温かく接するとともに、障がいのある者が困っているときに「ちょっと した手助け」を行うことにより共生社会を目指す運動をいう。

注6:指定の健康づくり関連事業(健康診断、健康づくり講演会、スポーツ教室など)に参加した場合にポイントを付与し、一定のポイント がたまったら、景品等のインセンティブを付与する制度。

## 3 幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ

① 移り住みたい・住み続けたい・帰りたい鳥取県を	5 4 3 2 1
<b>創造していく取組</b> (地元企業と若者の交流促進、県内就職への支援、魅力) 的な移住環境づくりの推進と情報発信など	<b>↓</b> ▲ 【】 ←満足 不満→
② 関係人口の拡大を進める取組 都市圏在住者・企業への情報発信、ワーケーション(注7) 実施支援等受入体制の整備、農村体験・農泊促進など	5 4 3 2 1 ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ 5 ▲ ▲ 5 ▲ 5 ▲ 4 ▲ 5 ▲ 5
③ 次世代産業の成長による県経済の持続的発展と 商圏拡大をめざす取組 先端技術の開発・導入支援、金融機関等と連携した 創業支援、海外需要獲得推進など	5 4 3 2 1 ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲
<ul> <li>④ 戦略的な産業人材の育成・確保</li> <li>「学術機関と連携した課題解決型教育推進、職業訓練の 充実、様々な媒体を活用した県内企業情報発信など</li> </ul>	5 4 3 2 1 ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲
<ul> <li>⑤ 自らの能力を発揮できる働き方の実現をめざす 取組</li> <li>(女性の就業・起業支援、イクボス・ファミボス(注8))の普及、高齢者の就業支援など</li> </ul>	5 4 3 2 1 ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲
⑥ 暮らしやすく元気になるまちづくりを進める取組 (空き家の利活用、ひきこもり・DV 問題に関する啓発、) 防犯・交通安全対策の推進など	5 4 3 2 1 ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲
⑦ アート・文化による地域づくりへの取組 県立美術館による拠点づくり、まんが・伝統芸能等の 文化資源や歴史・文化遺産の活用など	5 4 3 2 1 ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ 5 ▲ ▲ 5 ▲ 5 ▲ 4 ▲ 5 ▲ 5
⑧ 強靭な防災基盤の構築に向けた取組 ハザードマップ(注9)作成等による防災減災対策、原子 力防災体制整備、新技術によるインフラ維持・人材の 育成など	5 4 3 2 1 ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲
9 持続可能なインフラ整備や行政運営をめざす取組 超高速情報通信基盤整備の推進、空港・駅の利便性 向上・賑わい創出、ICTを活用した自治体業務の効率 化など	5 4 3 2 1 ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲
<ul> <li>※ 上記の施策等のうち、あなたが今後優先すべき(重要度が高い)</li> <li>【 】【 】【 】【 】【</li> </ul>	)と思うものを3つ選んでください。 】

注7:「ワーク(仕事)」と「バケーション(休暇)」から作られた造語。普段働いている職場を離れて、リゾート地などで休暇を取りながら 遠隔勤務を行うこと。

注8:育児はもちろん、介護しながら働き続けられる職場環境づくりを実践する家族志向のリーダーのこと。

注9:防災を目的に、災害に遭う地域を予測し表示した地図。災害危険予測地図。

## 4 男女共同参画社会づくり

【問7】あなたは、次の言葉をご存じですか。1、2の設問ごとに表中の選択の中から1つ選んでOを記入 してください。

	選択			
	知っている	聞いたことがある	知らない	
1 ワーク・ライフ・バランス(注10)				
2 男女共同参画社会				

【問8】男女に関する役割などついてお聞きします。次の項目(設問)についてどう思われますか、 1~8の設問ごとに表中の選択の中から1つ選んでOを記入してください。

	選択				
設 問	そう 思う	どちらかと言 えばそう思う	どちらかと言え ばそう思わない	そう思 わない	分から ない
1 現実として家事が女性の役割となっていると思う					
2 現実として子育てが女性の役割となっていると思う					
3 現実として介護が女性の役割となっていると思う					
4 学校教育の場において男女差は無いと思う					
5 就職の機会に男女差は無いと思う					
6 就労環境、待遇に男女差は無いと思う					
7 社会的立場や地位は男女とも平等だと思う					
8 性別に関係なく個人が輝ける社会になっていると思う					

【問9】男性の家事、育児、介護への積極的な参画を促進するために、行政が行うべき施策は何だと思いますか。
(Oは3つまで)

- 1 男性の家事・育児・介護への参画を当たり前のことと捉える社会全体の機運の醸成
- 2 男性の家庭での活躍を促す、経営者・従業員に向けた職場における意識啓発
- 3 ワーク・ライフ・バランスを実現できる労働環境整備への支援
- 4 家族・パートナー間での家事・育児の分担を見直すような研修会の開催
- 5 男性向けの家事・育児・介護の手法研修(講習)会開催
- 6 その他(下記に具体的にお書きください)

【問10】男女ともにワーク・ライフ・バランスの実践を促す労働環境をつくるために、行政が行うべき 施策は何だと思いますか。 (Oはいくつでも)

- 1 部下の仕事と家庭の両立を応援する「イクボス・ファミボス」の理念普及、機運醸成のための広報
- 2 イクボス・ファミボスとしての取組の具体例(優良事例)の情報提供
- 3 イクボス・ファミボスの取組の必要性・メリットを広めるための講演会等の開催
- 4 企業(雇用主)対象のイクボス・ファミボス研修会等の開催
- 5 ワーク・ライフ・バランスを実現するための労働環境整備の支援
- 6 その他(下記に具体的にお書きください)

【問11】介護と仕事を両立するために、行政が行うべき施策は何だと思いますか。(〇は3つまで)

- 1 企業(雇用主)対象のイクボス・ファミボス研修会の開催
- 2 企業における介護と仕事の両立支援の取組事例の情報提供
- 3 ワーク・ライフ・バランスを実現できる労働環境整備への支援
- 4 介護による離職者を再雇用した企業(雇用主)に対する経済的支援(補助金制度)
- 5 従業員の仕事と介護の両立に関するアドバイザーの派遣
- 6 夫婦間での家事・介護の分担を見直すような研修会の開催
- 7 男性向けの介護の手法研修(講習)会の開催
- 8 男性の介護休暇(介護休業)取得に関して企業(雇用主)に対する経済的支援(補助金制度)
- 9 その他(下記に具体的にお書きください)

【問12】男女共同参画社会を実現するために、行政が特に力を入れるべきことは何だと思いますか。

(0は3つまで)

- 1 固定的性別役割分担意識(注11)の解消など男女平等の視点に立った教育や学習機会等の充実
- 2 女性や男性の生き方や悩みに関する相談の場の拡充
- 3 男女共同参画等の相談場所の周知
- 4 就労における男女の機会均等や働きやすい環境の整備を進める企業の取組支援
- 5 保育の施設・サービスや子育て支援の充実
- 6 介護の施設・サービスや介護支援の充実
- 7 長時間労働の縮減やテレワーク制度の普及など、男女ともに働き方の見直しの啓発
- 8 子育てや介護等で離職した人の再就職支援
- 9 県の審議会委員や管理職など、政策決定の場への女性の積極的な登用
- 10 民間企業・団体などにおいて管理職への女性の登用が進むような取組支援
- 11 市町村における取組への支援
- 12 女性に対する暴力を根絶するための取組推進
- 13 その他(下記に具体的にお書きください)

注11:男性は外で働き、女性は家庭を守るべきである」というような性別に基づく固定的な役割分担意識のこと。

#### Ⅲ 重点施策への関心・認識

鳥取県が重点的に施策を展開している事業についての認識や意識をお聞きしますので、<u>設問別に該当</u> する選択肢にOをお願いします。



注12:ジェンダーとは、生まれついての生物学的性別(セックス/sex)に対して、社会によって作り上げられた「男性像」「女性像」(男らしさ・女らしさ)のことをいいます。 注13:既存の商品や仕組みなどに対して、新しい考え方や方法、技術を取り入れ、社会に大きな変革をもたらすこと。 【問13】あなたは国連で採択された SDGs という言葉・内容を聞いたことがありますか。

1 聞いたことがある 2 聞いたことがない (→問15へ)

【問14】(「聞いたことがある」と回答した方へ)SDGsという言葉・内容をどうやって知りましたか。 (Oはいくつでも)

1 新聞・雑誌 2 テレビ 3 インターネット 4 仕事・学校で関わりがある

- 5 SNS 6 家族や友人・知人から聞いた
- 7 その他(

)

【問15】あなたは SDGs の17のゴール(8つの優先課題)のうち、どの課題に関心がありますか。 (Oはいくつでも)

- 1 あらゆる人々が活躍する社会・ジェンダー平等の実現
- 2 健康・長寿の達成
- 3 成長市場の創出、地域活性化、科学技術イノベーション
- 4 持続可能で強靭な国土と質の高いインフラの整備
- 5 省・再生可能エネルギー、防災・気候変動対策、循環型社会
- 6 生物多様性、森林、海洋等の環境の保全
- 7 平和と安全・安心社会の実現
- 8 SDGs実施推進の体制と手段

【問16】 関心のある課題について、「2030年の鳥取県」 に向けて実践しよう (実践したい) と思うこと はなんですか。

(例)

- 1 あらゆる人々が活躍する社会・ジェンダー平等の実現 → 困っている方を見かけたら援助する。
- 2 健康・長寿の達成 → 定期的な運動(ウォーキング)と、健康診断を受診する。
- 3 成長市場の創出、地域活性化 → SDGsに積極的に取り組んでいる県内企業の商品やサービスを 選択する。
- 4 持続可能で強靭な国土と質の高いインフラの整備 → まちの清掃・防災活動などに参加する。
- 5 省・再生可能エネルギー、防災・気候変動対策、循環型社会 → 環境に配慮した製品を購入する。
- 6 生物多様性、森林、海洋等の環境の保全 →<u>レジ袋・プラスチック製品を使わない。</u>
- 7 平和と安全・安心社会の実現 → 地域ぐるみで子どもの安全(通学時等)を守る。
- 8 SDGs 実施推進体制と手段 → 世代間交流・国際交流イベントに参加する。

## Ⅳ 回答者の情報

あなたの年代や性別などをお答えください。該当する項目に〇印をお願いします。 なお、この情報はアンケート集計以外には利用いたしません。



## V 自由記載欄

ご意見・ご要望があれば自由にお聞かせください。

## 以上で質問は終わりです。ご協力ありがとうございました

記入もれがないか再度ご確認いただき、同封の返信用封筒に入れて郵便ポストに投函(切手不要) してください。なお、本調査の結果は11月下旬に「とりネットホームページ」に掲載予定です。